

科目名	公共	単位数	2	学科・学年・学級	森林環境科2年1組 普通科2年2組
学習の到達目標	社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方について理解する。 社会の諸課題について、事実を基に多面的に考え、公正に判断する力と、構想したことを議論する力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 新公共 (第一学習社)
評価規準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 現代の諸課題を考察するための手掛かりとなる概念や理論について理解している。 諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 各種プリントやノートの内容 	
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用できている。 事実を基に、多面的・多角的に考察し公正に判断し、合意形成や社会参画を視野に入れながら、構想したことを議論している。 			<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 授業中の発表と内容 課題解決に向けた論述とその構成及び内容 	
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> 発表の積極性と内容 課題の内容 ノートのまとめ方 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容	学 習 の ね ら い			考査
1 学 期	第1編 公共の扉 第1章 公共的な空間をつくる私たち	<ul style="list-style-type: none"> 公共的な空間において社会に参画する自立した主体となるために、青年期を生きる私たちは、何を考え行動すればよいかを理解する。 公共的な空間で生きていくために必要なこととして、個人として尊重されることや、対話を通して他者を理解することを理解する。 伝統や文化と、自らの行動様式や考え方との関係について理解する。 生涯にわたって学習していくことの意義を考える。 			中間・期末
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第3章 公共的な空間における基本的原理	<ul style="list-style-type: none"> 社会に参画する際、選択・判断をするための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 選択・判断の手掛かりとなる考え方を活用し、環境保護や生命倫理など実社会の問題を考える。 人権保障のあゆみや世界の政治体制、日本国憲法などを通して、公共的な空間における基本的原理が、現代社会でどのような形で生かされているかを理解する。 			
2 学 期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち 第1章 法的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> 憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて、各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現されていくことについて理解する。 			中間・期末
	第2章 政治的な主体となる私たち 第3章 経済的な主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> 憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立を調整して合意を形成することなどを通して、よりよい社会が築かれることについて理解する。 公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、資源の効率的な配分が図られることを理解する。 市場経済システムを機能させたり、国民福祉の向上に寄与したりする役割を、政府などが担っていることを理解する。 より活発な経済活動と、個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることを理解する。 			
3 学 期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> 持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、自立した主体として、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する。 			学年末

科目名	政治・経済	単位数	3	学科・学年・学級	森林環境科 3年1組
学習の到達目標	現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、良識ある公民としての基礎的教養を高める。 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 政治・経済 (第一学習社)
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄に対して関心が高まっている。 ・主体的、意欲的に課題を追究している。 ・社会的事象を総合的に考える態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について、自覚を深めようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度 ・発表の積極性と内容 ・レポートやプリント、ノートのまとめ方 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄から課題を見出している。 ・社会事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野にたつて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（論述問題） ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容 	
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸事象についての資料を様々なメディアを通して収集している。 ・情報を主体的に選択活用できているか。 ・課題などを追究し考察した過程や結果を適切に表現できる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（論述問題） ・統計・グラフの選択と読み取り、活用 ・資料を用いた発表 ・レポート及び課題プリント 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。 ・現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査及び小テスト ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本		<ul style="list-style-type: none"> ・人権保障や法の支配など、民主政治の原理やその発展について理解し、民主政治の在り方について考察する。 ・日本国憲法の成立過程や、基本原則について理解するとともに現代の社会における課題について考察する。 ・国会、内閣、裁判所などの政治機構について理解を深め、日本の政治機構の課題について考察する。 ・「民主主義の学校」といわれる地方自治の意義と問題を理解し、今後の地方自治の在り方について考察する。 ・日本の選挙制度について理解を深め、自発的に政治に参加する意識を養う。 ・国際政治のしくみを理解し、国際社会における日本の役割を考察し、国際社会の一員としての態度を養う。 		中間・期末
2 学 期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題		<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済と社会主義経済の特徴やその変容を理解する。 ・市場経済の機能を理解し、景気の変動、財政の役割について理解を深め、現代社会の経済の動きを考察する。 ・日本経済の特質を理解し、日本経済の問題を考察する。 ・国際経済のしくみや国際分業、国際経済機関の役割について理解を深め、国際経済における日本の役割を考察する。 ・大きな政府と小さな政府、少子高齢化と社会保障、住民生活と地方自治、食料問題、環境問題、消費者保護、労働問題等の現代の諸課題を追究し、多様な角度から望ましい解決の在り方を考察する。 		中間・期末
3 学 期	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題		<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題、核兵器と軍縮、人種・民族問題、経済摩擦と外交、南北問題、国際社会における日本の役割等の国際社会の政治や経済の諸課題について追究し、国際社会における日本の役割について深く考察する。 		実施なし

科目名	政治・経済	単位数	3	学科・学年・学級	普通科3年2組（選択）
学習の到達目標	現代の政治や経済、国際社会の仕組みや動向について理解を深め、良識ある公民としての基礎的教養を高める。 広い視野に立ち、現代における政治や経済、国際社会に関する諸課題について主体的に考察し、公正に判断する能力を身に付ける。			教科書・副教材等	高等学校 政治・経済（第一学習社）
評 価 規 準					
観 点	評 価 規 準			方 法	
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄に対して関心が高まっている。 ・主体的、意欲的に課題を追究している。 ・社会的事象を総合的に考える態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について、自覚を深めようとしている。 			<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の態度 ・発表の積極性と内容 ・レポートやプリント、ノートのまとめ方 	
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の基本的問題と政治・経済に関わる事柄から課題を見出している。 ・社会事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野にたつて多面的・多角的に考察し、公正に判断している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（論述問題） ・授業中の発表と内容 ・課題解決に向けた論述とその構成及び内容 	
資料活用の技能・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・現代の諸事象についての資料を様々なメディアを通して収集している。 ・情報を主体的に選択活用できているか。 ・課題などを追究し考察した過程や結果を適切に表現できる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査（論述問題） ・統計・グラフの選択と読み取り、活用 ・資料を用いた発表 ・レポート及び課題プリント 	
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> ・政治・経済の各分野に関する基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。 ・現代社会で生起する問題が複合的要因で生じていることを理解している。 			<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査及び小テスト ・授業中の発表と内容 ・各種プリントやノートの内容 	
学 習 計 画					
	学 習 内 容		学 習 の ね ら い		考査
1 学 期	第1編 現代の政治 第1章 民主政治の基本原則と日本国憲法 第2章 現代の国際政治と日本		<ul style="list-style-type: none"> ・人権保障や法の支配など、民主政治の原理やその発展について理解し、民主政治の在り方について考察する。 ・日本国憲法の成立過程や、基本原則について理解するとともに現代の社会における課題について考察する。 ・国会、内閣、裁判所などの政治機構について理解を深め、日本の政治機構の課題について考察する。 ・「民主主義の学校」といわれる地方自治の意義と問題を理解し、今後の地方自治の在り方について考察する。 ・日本の選挙制度について理解を深め、自発的に政治に参加する意識を養う。 ・国際政治のしくみを理解し、国際社会における日本の役割を考察し、国際社会の一員としての態度を養う。 		中間・期末
2 学 期	第2編 現代の経済 第1章 現代経済のしくみと特質 第2章 国民経済と国際経済 第3編 現代社会の諸課題 第1章 現代日本の政治や経済の諸課題		<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済と社会主義経済の特徴やその変容を理解する。 ・市場経済の機能を理解し、景気の変動、財政の役割について理解を深め、現代社会の経済の動きを考察する。 ・日本経済の特質を理解し、日本経済の問題を考察する。 ・国際経済のしくみや国際分業、国際経済機関の役割について理解を深め、国際経済における日本の役割を考察する。 ・大きな政府と小さな政府、少子高齢化と社会保障、住民生活と地方自治、食料問題、環境問題、消費者保護、労働問題等の現代の諸課題を追究し、多様な角度から望ましい解決の在り方を考察する。 		中間・期末
3 学 期	第2章 国際社会の政治や経済の諸課題		<ul style="list-style-type: none"> ・地球環境問題、核兵器と軍縮、人種・民族問題、経済摩擦と外交、南北問題、国際社会における日本の役割等の国際社会の政治や経済の諸課題について追究し、国際社会における日本の役割について深く考察する。 		実施なし